



岐阜大学機関リポジトリ

Gifu University Institutional Repository

セレノカルボニル基を機軸とする新合成反応の開発

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2008-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 村井, 利昭 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12099/550

はしがき

高効率でかつ高選択的な有機合成反応の開発は合成化学に於ける重要な課題の一つである。さらに合成プロセスの高速化、出発物質から生成物に至る過程の短縮化も、達成されなければならない課題である。これまで種々の炭素を含む二重結合を有する化合物を機軸とした骨格変換反応が知られている。ここでもし、炭素と弱い二重結合を有する化合物を設計し自在に変換できれば、これまでになく温和な条件下短時間で合成反応の実現が期待される。本研究では、周期律表第四周期に属するセレン原子と炭素原子との二重結合（セレノカルボニル基）の高い反応性を利用した合成反応の開発さらにはそれらから誘導される活性化学種の性状の解明を目指し、数多くの新しい知見を得た。

1. 研究課題及び課題番号

セレノカルボニル基を機軸とする新合成反応の開発

12650852

2. 標題

平成12～13年度（基盤研究C(2)）

3. 研究組織

研究代表者 村井利昭（岐阜大学工学部教授）

研究分担者 なし

4. 研究経費

(金額単位:千円)

	直接経費	間接経費	合計
平成12年度	2,000	0	2,000
平成13年度	1,300	0	1,300
総計	3,300	0	3,300